

2020年 第33回全日本420級選手権大会
兼 全日本女子420級選手権大会
第6回全日本 U17 420級選手権大会
2021年 420級世界選手権、ヨーロッパ選手権 選考対象大会



公認	公益財団法人 日本セーリング連盟 (公認番号 2020-11)
日程	2020年12月25日(金) - 12月28日(月)
共同主催	日本420協会、愛知県ヨット連盟
後援	愛知県、愛知県スポーツ協会、蒲州市、蒲州市教育委員会、都市整備協会
協賛	割烹旅館 三長、(株) GMG、(株) SRC、SAILFAST、(株)タマリホールディングス、名古屋トヨペット(株) なごやジュニアヨットクラブ、(株)丸玉運送、muta Marine、名港ヨットクラブ
協力	豊田自動織機 海陽ヨットハーバー、(株) 第一観光
開催地	愛知県蒲州市海陽町 1-7 豊田自動織機 海陽ヨットハーバー

Notice of Race as 08. December. 2020

略語

- [SP] レース委員会、またはテクニカル委員会が審問無しに標準ペナルティを適用することができる規則を意味する。これは規則63.1及びA5を変更している。当該委員会はその規則の違反を抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティが決定される。
- [NP] 艇による抗議の根拠とならないことを意味する。これは規則60.1(a)を変更している。

1. 規則

- 1.1 本レガッタは、『セーリング競技規則 2017-2020 (以下、「規則」という)』に定義された規則を適用する。
- 1.2 付則Pを適用する。
- 1.3 付則Tを適用する。

2. [DP] [NP] 広告

艇は主催団体により選択され、支給された広告を表示するよう要求されることがある。

3. 参加資格

- 3.1 全日本 420級選手権大会の参加者は以下を満たしていなければならない。
 - i) 2020年度(公財) 日本セーリング連盟の会員である者。
 - ii) 2020年度 日本420協会の会員である者。
 - iii) 各フリートに所属し、指導者の推薦を得た者。
 - iv) 未成年者の場合、親権者の承認を得た者。
- 3.2 全日本女子 420級選手権大会の該当者は以下を満たしていなければならない。
 - i) 公示3.1を満たし、乗員が女子選手で構成されたチームであること。
- 3.3 全日本U17 420級選手権大会の該当者は以下を満たしていなければならない。
 - i) 公示3.1を満たし、2020年12月31日時点で満17歳未満(2003年12月31日以降生まれ)の乗員で構成されたチームであること。
- 3.4 2021年 420級世界選手権、ヨーロッパ選手権の派遣大会の代表チーム選考方針は、日本420協会の公示による。

4. 参加申し込み

- 4.1 参加資格のある艇は、2020年11月29日(日)までに「愛知県ヨット連盟」HP上に設定される大会webサイトにアクセスし、エントリー登録すること。
愛知県ヨット連盟HP URL : <http://www.ayf.jp>
大会 webサイトでのエントリーは、2020年11月1日(日)に開始される。
- 4.2 公示3.2の全日本女子420級選手権大会の該当資格のあるチーム、公示3.3の全日本U17 420級選手権大会の該当資格のあるチームは、オンライン・エントリーの自由通信欄に、その旨を記載しなければならない。
- 4.3 公示5に記載の参加料を2020年12月4日(金)までに指定口座に振り込むこと。
- 4.4 レイト・エントリーは、2020年12月11日(金)まで受付ける。
参加料振り込みが12月4日(金)以降となった場合も、レイト・エントリーとなる。

5. 参加料

- 5.1 艇の参加料は、15,000円/艇とする。ハーバー利用料は各自で支払うこと。
艇のレイト・エントリーの参加料は、18,000円/艇とする。
- 5.2 大会に登録する支援艇の登録料は、3,000円/艇とする。ハーバー利用料は各自で支払うこと。
登録料には12月26日(土)から28日(月)までの無線機レンタル料が含まれる。
支援艇のレイト・エントリーの登録料は、4,000円/艇とする。
- 5.3 参加料振込先及び注意事項は以下のとおり。
三菱UFJ銀行 千住中央支店 店番 195
普通 0240631 アイチケンヨットレンメイ レースマネジメントインカイ シノミヤ モトコ
- ・ 1艇分振り込みの場合、Sail Noを入力下さい。
(例1 Sail No 55000の場合 : 55000)
 - ・ 1艇分と支援艇分を振り込みの場合、Sail Noと支援艇艇数を入力下さい。
(例2 Sail No 56000. 支援艇1艇の場合 : 56000 シン1)
 - ・ 複数艇分を一括振り込みの場合、艇数と団体名を入力下さい。
(例3 ○○○高校から3艇の場合 : 3○○○コウカ)
 - ・ 複数艇分と支援艇分を一括振り込みの場合、艇数と団体名及び支援艇数を入力下さい。
(例4 △△△セーリングから4艇. 支援艇2艇の場合 : 4△△△セーリング シン2)
- 大会事務局 全日本420級選手権大会 実行委員会 篠宮 元子
〒 443-0014 愛知県蒲郡市海陽町1-7 豊田自動織機 海陽ヨットハーバー 気付
E-mail : motoco22sailing▲gmail.com (▲を@に置換して送信下さい)
- 5.4 参加料振り込み後、選手の要因による不参加に対する返金は行わない。

6. 大会中止の条件

- 6.1 以下の場合、大会を延期または中止する場合がある。
i) 天災により会場の使用が不能となった場合。
ii) 新型コロナウイルス等の感染症蔓延防止対策で、行政機関より大会中止、延期を指示または勧告された場合。
- 6.2 大会開始後、参加者が新型コロナウイルス等の感染が判明した場合、参加者全体の安全を確保するために、大会を中止、または打ち切りする場合がある。
- 6.3 公示6.1の理由により大会が延期または中止となった場合、参加料より必要経費を差し引いた金額を返金する。

7. スケジュール

- 7.1 本レガッタのスケジュールは以下のとおりとする。
- | | | | |
|-------|------------|-------------|---|
| Day 0 | 12月25日 (金) | 10:00-16:00 | 受付・登録 |
| | | 13:00-16:30 | 計測 |
| Day1 | 12月26日 (土) | 08:00-09:30 | 受付・登録 |
| | | 08:30-10:00 | 計測 |
| | | 10:00-10:30 | 開会式、ブリーフィング |
| | | 11:30 | 第1レース予告信号予定時刻
引き続きレースを実施し、3レースを計画している。 |
| Day2 | 12月27日 (日) | 09:00-09:20 | ブリーフィング |
| | | 10:20 | その日の最初の予告信号予定時刻
引き続きレースを実施し、3レースを計画している。 |
| Day3 | 12月28日 (月) | 09:00-09:20 | ブリーフィング |
| | | 10:20 | その日の最初の予告信号予定時刻
引き続きレースを実施し、3レースを計画している。 |
| | | 16:00 | 閉会式 |
- 7.2 参加艇は艇を搬入時に、豊田自動織機 海陽ヨットハーバー事務室にて艇の搬入手続きを行わなければならない。
- 7.3 参加艇は、12月26日 09:30までに大会受付で受付と登録を完了させなければならない。
- 7.4 本レガッタは、全体で9レースを予定している。
- 7.5 大会期間中の豊田自動織機 海陽ヨットハーバーの開門時間は07:45である。
- 7.6 レガッタ最終日は、14:00より後に予告信号は発せられない。

8. レガッタ・フォーマット

8.1 本レガッタは、2フリートにて予選シリーズ/決勝シリーズレースを行う。

8.2 予選シリーズは以下のとおり行う。

- i) 12月26日、27日に計画し、最大6レースを実施する。
- ii) 1日あたりの最大レース数は4レースとする。
- iii) 各フリートの参加艇数ができる限り同数となる様、フリート分けを行う。
初日のフリート分けは、大会実行委員会によって行われ、12月20日までに大会webサイトに掲示される。
2日目のフリート分けは、初日の暫定順位により決められ、前日の20:00までに大会webサイトに掲示される。
- iv) 両フリート共に1レースの完了で、予選シリーズの1レースが完了する。
あるレースのどちらかのフリートのレースが中止された場合、もうひとつのフリートのレースも取り消される。

8.3 決勝シリーズは以下のとおり行う。

- i) 12月28日に計画し、3レースを実施する。
- ii) 予選シリーズの成績を基に、ゴールド・フリート(予選シリーズの成績上位半数)とシルバー・フリート(予選シリーズの成績下位半数)にフリート分けを行い、前日の20:00までに大会webサイトに掲示される。
- iii) 参加艇数が奇数の場合、ゴールド・フリートを1多くするように分ける。
- iv) ゴールド・フリートとシルバー・フリートは個別に得点計算し、シルバー・フリートの成績はゴールド・フリートの成績を上回ることはない。

8.4 大会の成立と予選の成立は以下のとおりとする。

- i) 大会は3レース完了をもって成立する。
- ii) 決勝シリーズを計画している場合でも、12月27日までに予選シリーズが4レースを完了しなかった場合、決勝シリーズは行わない。この場合、12月28日も予選シリーズを実施し総合成績とする。

9. [DP] [NP] 計測

9.1 艇はMF/MC (MEASUREMENT FORM & MEASUREMENT CERTIFICATE)のPDFデータを2020年12月13日までに大会テクニカル委員会に送信しなければならない。

9.2 大会計測の手順は、大会webサイトにて事前に掲示する。

9.3 艇または装備は、規則に従っていることを確認するために、いつでも検査されることがある。

10. 帆走指示書

帆走指示書は12月13日(日)までに大会webサイトにて入手できる。

11. 開催地・レース・エリア

添付Aにハーバー及びレース・エリアの場所を示す。

12. コース

添付Bに帆走するコースを示す。

13. 得点

得点は以下のとおりとする。

- i) 予選シリーズの2つのフリートの参加艇数が異なる場合、予選シリーズの各フリートの得点は、参加艇数が多いほうのフリートの艇数を用いて計算する。これは規則A4.2を変更している。
- ii) 予選シリーズが4レース未満の完了の場合は、予選シリーズ得点はその艇の全てのレースの得点の合計とする。
- iii) 予選シリーズが4レース以上完了の場合は、予選シリーズ得点は最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。
- iv) 決勝シリーズのそれぞれのフリートは、別々に得点を付ける。
決勝シリーズが実施された場合、予選シリーズの順位を決めるために除外した得点も用いる。
シリーズ全体で5レース未満の完了の場合、シリーズ得点は全てのレースの得点の合計とする。
シリーズ全体で5レース以上完了の場合、シリーズ得点は最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。

14. 抗議の要件

規則61.1(a)の2番目の文を以下と置き換える。

「その抗議がレース・エリアで関与したか、または目撃したインシデントに関わる場合、艇は最初の妥当な機会に目立つように"赤色旗"を掲揚しなければならない。」

15. [DP] [NP] 支援艇

- 15.1 支援艇を出艇させる場合、受付・登録時に登録しなければならない。
- 15.2 支援艇は主催団体から貸与される識別旗を水面から1.5m以上の高さに掲揚しなければならない。掲揚のためのポールは、各艇で用意しなければならない。
- 15.3 支援艇は以下を遵守しなければならない。
 - i) 主催団体から指定される栈橋に係留しなければならない。
 - ii) 主催団体から貸与される無線を常時傍受していなければならない。
 - iii) 添付Cにある航行制限範囲を守らなければならない。
 - iv) レース委員会が艇の安全のために必要と判断した場合、支援艇はレスキュー艇とみなされ、艇と乗員の安全確保に協力しなければならない。この場合、公示15.3 iii)は適用されない。
 - v) 支援艇の乗員は、レスキュー対応のために定員の50%以下でなければならない。

16. [DP] [NP] バースと艇の移動制限

選手は、あらかじめ指定されるバースに艇を保管しなければならない。
また、主催団体またはレース委員会から制限された場所に、一時的な仮置きも含み艇を移動してはならない。

17. [DP] [NP] 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は無線送信、全ての艇が利用できない無線通信の受信をしてはならない。

18. 賞

- 18.1 全日本420級 選手権大会の賞は以下のとおりとする。
 - i) 1位の艇に優勝杯「松田菊雄杯」を授与する。
 - ii) 1位から3位の艇に賞を授与する。
- 18.2 全日本女子420級 選手権大会の賞は以下のとおりとする。
 - i) 1位の艇に優勝杯を授与する。
 - ii) 1位から3位の艇に賞を授与する。
- 18.3 全日本U17 420級 選手権大会の賞は以下のとおりとする。
 - i) 1位の艇に優勝杯を授与する。
 - ii) 1位から3位の艇に賞を授与する。

19. 責任の否認

選手は自分自身の責任で本レガッタに参加する。規則4「レースをすることの決定」参照。主催団体は、本レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる 責任も負わない。

20. 保険

- 20.1 選手は、対人対物賠償額が各々1億円以上の有効な財団法人スポーツ安全協会のスポーツ保険または 同等の第三者賠償責任保険に加入していなければならない。
- 20.2 支援艇を出艇させる場合、対人賠償額が各々1億円以上、対物賠償額が5千万円以上の第三者賠償責任保険に加入していなければならない。

21. [DP] [NP] 健康管理

選手及び支援者は、大会webサイトで入手できる健康管理に関するガイドラインに従わなければならない。

22. 肖像権. 個人情報

選手は、本レガッタに参加申込みすることにより、「個人名」、「所属チーム」、「セール番号」、及び参加する大会カテゴリーが規定される「性別」、「年齢」が大会webサイト上のエントリーリストに掲示されることに同意する。
選手は、本レガッタに参加することにより、期間中の選手または期間中の選手の装備に関する動画、スチール写真及び、生中継、録画あるいは撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく 主催団体、運営団体、及び協賛各社が独自の判断で使用する権利を与えることに同意する。
参加申込みにあたり提出された個人情報は、本人の同意がない限り第三者に提供されることはない。

23. [DP] [NP] その他

選手は、大会webサイトで入手できる日本420協会より要求された以下の書類を提出しなければならない。

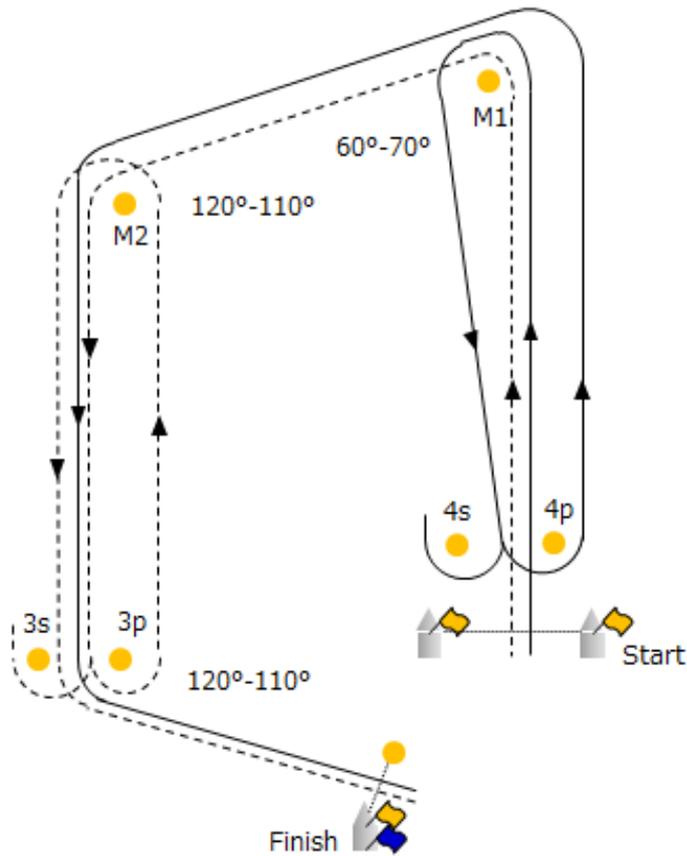
- i) 420級世界選手権大会参加希望調査 指定のアドレスにe-mailで送付
- ii) 大会前チェックシート 2020全日本420選手権大会 大会受付時にレガッタ・オフィスに提出

【添付A】



N34.47.183 E137.16.017 を中心としたΦ1.4Nmを「レース・エリア」とする。

【添付B】



コース 0 : 破線

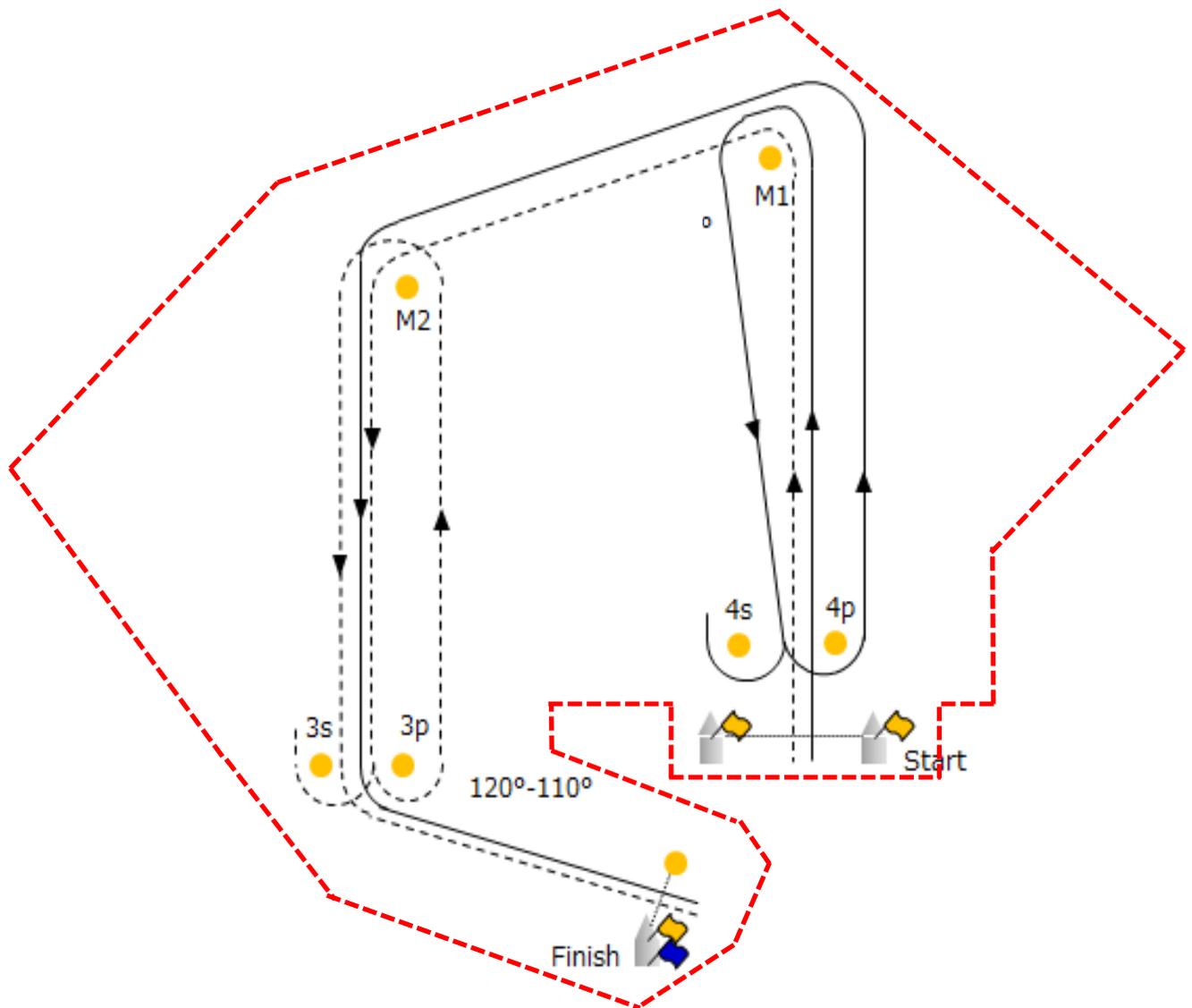
スタート → M1 → M2 → 3p/3s → M2
→ 3p → フィニッシュ

コース 1 : 実線

スタート → M1 → 4p/4s → M1 → M2
→ 3p → フィニッシュ

【添付C】

支援艇は、レース中以下の図に示す点線の内側に入ってはならない。
 この点線は、レース委員会艇、スタート・ライン、フィニッシュ・ライン、マーク及び艇が帆走するであろう位置から距離100mを示している



三谷港潮汐表

12月26日(土)		12月27日(日)		12月28日(月)	
中潮		中潮		大潮	
月齢 11.3		月齢 12.3		月齢 13.3	
日の出 06:56		日の出 06:56		日の出 06:56	
日の入 16:48		日の入 16:48		日の入 16:49	
満潮	干潮	満潮	干潮	満潮	干潮
03:52	09:16	04:37	10:04	05:16	10:47
178cm	111cm	191cm	109cm	204cm	106cm
15:04	21:55	15:43	22:31	16:19	23:06
197cm	46cm	203cm	31cm	209cm	18cm

以下は、レース公示に含まれない一般情報である。

1. 選手は健康保険証、またはそのコピーを持参すること。
2. 艇、支援艇の搬入・搬出時期については制限を設けない。

豊田自動織機 海陽ヨットハーバー利用料金表

(令和元年10月より)
 <<円>>

ディンギーヨットでの利用

持ち込み	一般利用 1隻1日	一般の方	970
		学生及び生徒の方	480
		OP級	340
保管	専用利用 1隻1月	一般の方	9,700
		学生及び生徒の方	4,900
		OP級	3,500

※出艇の際、別途給水料金が必要です。

ディンギー レンタル	シーホッパーSR テラ	一般の方	5,620
		学生及び生徒の方	4,190
	レーザーII スナイプ シカール	一般の方	6,470
		学生及び生徒の方	4,820

※給水料金含む。

ご利用はヨット経験者となります。

給水(艇体水洗い用)	1回0.5㎡	150
------------	--------	-----

〔学生及び生徒料金について〕

学生及び生徒の方が、実際に操船する場合にのみ適用され、一般の方が操船するヨットに同乗するだけでは適用されません。また、適用にあたり、学生証等の提示が必要です。

運営艇及びクルーザーヨットでの利用

一般利用 (持込) 係留・野積 1隻1日	5m未満(艇長)	1,290
	5m以上6m未満	1,830
	6m以上7m未満	2,360
	7m以上8m未満	2,910
	8m以上9m未満	3,440
	9m以上	3,990
専用利用 (保管) 野積のみ 1隻1月	5m未満(艇長)	13,100
	5m以上6m未満	18,600
	6m以上7m未満	24,100
	7m以上8m未満	29,600
	8m以上9m未満	35,100
	9m以上	40,600
艇庫	1隻1月	20,300
船台保管	1台1月	2,500

※艇長は、実測値。(船舶検査証書記載の船舶の長さとは異なります。)

※船台保管とは、船台のみを保管する場合に適用されます。

船台には、ディンギーヨットの移送用トレーも含まれます。

※運営艇には、ヨット大会の運営艇以外に、支援艇・救助艇も含まれます。

クレーン利用	片道	1,610
ボートキャリア利用	片道	640
給水(艇体水洗い用)	1回1㎡	300

3. 各日とも海上で昼食を取る場合があるので、各自で用意すること。
4. レース公示及び帆走指示書への質問は、大会webサイトで入手することが出来る書式を用いた事前送付を推奨する。事前送付された質問に対する回答は、大会webサイトに掲示される。
5. 2018年、2019年の12月の風速実績は、大会webサイトに掲示される。
6. 蒲郡三谷温泉、近隣の宿泊斡旋を計画している。詳細は大会webサイトに掲示される。